



2022年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社システムサポート
代 表 者 名 代表取締役社長 小清水良次
(コード番号：4396 東証プライム)
問い合わせ先 取締役 管理本部長 森田直幸
TEL. 076-265-5151

報告セグメントおよびセグメント利益の算出方法変更に関するお知らせ

当社は、本日発表の2023年6月期第1四半期連結累計期間の決算より、報告セグメントおよびセグメント利益の算出方法を下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社グループは2023年6月期～2025年6月期の中期経営計画で「成長と更なるイノベーションの創出」を中期テーマとして掲げ、2025年度6月期には売上高21,892百万円以上、営業利益2,189百万円以上、営業利益率10.0%以上の業績目標の達成を目指しています。中期経営計画では「顧客・社会のDX推進の基盤となるサービスの拡充」を基本方針の一つとし、クラウドインテグレーションを注力分野と位置付けております。

これに伴い、中期的に注力する事業とその進捗を明確にするため、当第1四半期連結会計期間よりセグメントを「クラウドインテグレーション事業」「システムインテグレーション事業」「アウトソーシング事業」「プロダクト事業」「海外事業」の5つに区分して報告いたします。従来の区分からの主な変更点として、従来の「ソリューション事業」を、クラウドインテグレーション分野の「クラウドインテグレーション事業」と、ERPパッケージ関連やインフラ構築、ITシステム開発等の「システムインテグレーション事業」に分割しました。また従来「アウトソーシング事業」に含んでいたシステム運用保守の一部を「システムインテグレーション事業」に移管したほか、海外で実施する各種サービスやメディア運営を新たに「海外事業」として区分しました。

またセグメント利益の算出に関しまして、「販売費及び一般管理費」について従来は各報告セグメントに配賦しておりませんでした。今後の事業成長を加速させるための経営管理・意思決定に基づく戦略的経費としての側面を重視し、中期経営計画の進捗をより適正に開示・報告することを目的として、各報告セグメントへ配賦する方法に変更しております。



2. 報告セグメント変更の概要

<旧セグメント>

ソリューション	I Tシステムのコンサルティング・設計・開発・運用保守を中心に、各種クラウドサービスやE R Pパッケージの利用・導入に係る技術支援やデータベース等のインフラ構築
アウトソーシング	プライベートクラウド等のデータセンターサービスやソリューション事業において開発に携わったシステムに関するユーザー企業への教育、ヘルプデスクの運用保守、データ分析・入力サービス
プロダクト	当社グループによる製品（ソフトウェア）の開発及び販売、ユーザー企業の用途に応じたカスタマイズ開発サービス
その他	海外情報提供サービス、海外メディア事業、人材紹介事業等

<新セグメント>

クラウドインテグレーション	クラウドサービス (ServiceNow、Microsoft Azure、AWS、Google Cloud 等) の移行・利用に係る技術支援やライセンス等の再販
システムインテグレーション	E R Pパッケージの導入・利用に係る技術支援、データベース等のインフラ構築、I Tシステムのコンサルティング・設計・開発・運用保守
アウトソーシング	当社グループによるプライベートクラウド等のデータセンターサービス、データ分析・入力、ニアショアによるシステム運用保守
プロダクト	当社グループによるプロダクト（ソフトウェア）の開発及び販売、ユーザー企業の用途に応じたカスタマイズ
海外	海外でのシステムインテグレーションや給与・会計業務のアウトソーシング、人材紹介サービス、メディア運営



*旧セグメントから新セグメントへの矢印は主要なものを記載しています。

以 上